

人権啓発映像ソフト ライブラリー

人権研修会等の教材として、DVD、VHSの映像ソフトの利用を希望される方は、各所管にご連絡ください。

★人権推進多文化共生課（電話 740-1150 内線 2411） ★総合センター（電話 758-8398）

■人権推進多文化共生課、総合センター両所管の教材につきましては、どちらかにご連絡いただき、貸し出すことができます。

■利用期間は、原則として1週間を限度とします。

■一度の貸し出し個数は、人権推進多文化共生課は3作品、総合センターでは2作品です。

◆人権啓発・教育映像ソフト一覧◆

【令和5(2023)年5月現在】

No	ジャンル	タイトル	制作年 所要時間	所管
162	人権全般	鬼の子とゆきうさぎ（アニメーション） 鬼の子と人間の女の子ユキとの不思議な友情の中から、私たちが忘れかけているやさしさや、思いやりの心、家族のぬくもりが温かい感動として伝わってくる。	2007年 22分	人権推進 多文化共生課
165	人権全般	風の人になりたい 環境教育プランナー岡本工介の1ヶ月1万kmに及ぶアメリカの旅に密着し、子どもたちの教育に人生をかけることを決意する姿を描く。	2007年 37分	人権推進 多文化共生課
166	人権全般	ここに咲く花 ★VHS版⇒No.166(総合センター) いじめの構造の中で多数を占める傍観者、その観衆たちが一歩を踏み出し、勇気をもって声を発すれば、必ずいじめの解決につながるということを訴えかける。	2007年 35分	人権推進 多文化共生課
168	人権全般	親愛なる、あなたへ ★VHS版⇒No.168(総合センター) 地域社会の結びつきが弱まる中で起きている様々な人権問題。地域に関わる全ての人が、同じ社会の構成員として、よりよい暮らし作りを実践する地域社会を創造していくためにはどうすればよいのか。一人ひとりの『気づき』こそが、互いに支え合う力が低下した地域の『再生』につながることを訴えるドラマ。	2008年 37分	人権推進多文化 共生課
170	人権全般	差別意識の解消に向けて（1）人権のまちづくり 今、同和地区内外の人たちが生活現場で手を取り合い、差別の解消に向けて、「人権のまちづくり」に取り組んでいる。差別や偏見を乗り越えながら、同和地区への忌避意識を解消していく、人権のまちづくりが展開されている。	2007年 29分	人権推進 多文化共生課
171	人権全般	「Jun&Keiの企業と人権」 部落地名総鑑事件30年企画 企業にとって時代のキーワードは「人権・環境・安全」と言われます。しかし、「人権問題って、本当に必要な?」の声がまだまだ多いのが現実です。そんなニーズに真正面から応えた本作品は、「個人情報」「男性・女性」「障がい者」「外国人」「部落差別」、それぞれのテーマについての初級・入門編。	2006年 30分	総合センター
172	人権全般	声を聞かせて（アニメーション） 携帯電話やインターネットに依存する子どもたちの問題点をわかりやすく描き、自然なストーリーで、人と人の絆や友情、命の大きさを訴える。	2009年 40分	総合センター
173	人権全般	あの空の向こうに ※字幕・副音声付き ケータイやインターネット等の利用にあたっての人権意識の重要性や、人と人とのふれ合い、語り合いの大切さを訴え、心の寄り添うようなコミュニケーションを図ることの大切さと家庭の果たす役割にも気付かせる。	2010年 38分	人権推進 多文化共生課 総合センター
174	人権全般	職場の人権 -相手のきもちを考える- ※日本語字幕付き 社員相談室・新人相談員の佐藤が、様々な職場で起こるトラブルや悩みにも遭遇することによって、“相手のきもち”を考えることはどういうことなのかを理解していく過程をドラマ仕立てで描く。職場で身近に起こり得るパワハラやセクハラ、コミュニケーション不足が原因のトラブルを描くことで、そこにある意識のズレと問題点を提示していく。	2008年 27分	人権推進 多文化共生課
175	人権全般	おくりびと ※日本語字幕付き 楽団の解散でチェロ奏者の夢をあきらめ、故郷の山形に帰ってきた大悟（本木雅弘）は好条件の求人広告を見つける。面接に向かうと社長の佐々木（山崎努）に即採用されるが、業務内容は遺体を棺に収める仕事。当初は戸惑っていた大悟だったが、さまざまな境遇の別れと向き合ううちに、納棺師の仕事に誇りを見いだしてゆく。	2008年 131分	人権推進 多文化共生課
176	人権全般	クリームパン 子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、今一度、「いのち」について自分の問題として考えてもらうことを目的とする。	2010年 36分	人権推進 多文化共生課
177	人権全般	三年寝太郎（アニメーション） 3年と3カ月も寝てばかりいた若者が、水の乏しい村に幾山も越えた湖から水を引く決意する。初めは誰もが眺めるばかりであったが、やがて一人、二人が手伝い、ついには村中の人々が繰り出で水路をきり開く。人間として粗末にしてはならないお米と水の大切さも寝太郎は教えてくれる。	2009年 40分	総合センター
178	人権全般	今、地域社会と職場の人権は! この作品は、「高齢者の問題」「子育てする女性の問題」「パワハラ・セクハラの問題」「同和問題」に焦点をあて、研修が行いやすい4部構成になっている。	2012年 36分	総合センター

179	人権全般 (虐待)	パパ、ママをぶたないで (アニメーション) 母親への父親の暴力に苦しむ子どもの目から見たアニメーション。	2009年 20分	総合センター
180	人権全般 (セクマイ)	セクシュアルマイノリティ理解のために ~子どもたちの学校生活とところを守る~ クラスに一人はいる「セクシュアル・マイノリティ」。今、LGBT当事者が、教師が語りだす、その学校生活とところ。	2010年 56分	総合センター
181	人権全般 (セクマイ)	LGBTインタビュー もしも友だちがLGBTだったら 高校生の明日香は同級生の垂美と付き合いはじめて1年目。しかし小学校からの親友・真紀には自分が女の子が好きであることを言えないままだった。明日香は真紀にカミングアウトするのか…。ドラマ終了後の当事者のメッセージも収録。	2010年 67分	総合センター
182	人権全般	桃香の自由帳 「人とのつながり」「きずな」を通して、一人ひとりが地域社会を担う一員であることを自覚し、人と人との助け合い、支え合いについて、自分の問題として考えていく。	2011年 36分	人権推進 多文化共生課
183	人権全般	あなたの偏見、わたしの差別 人権問題に興味を持つ若者4人が集まり、議論や意見を深めていく。少し視野を広げれば、身の周りに様々な人権問題があることに気付く。その「旅」へといざなう教材。	2012年 30分	総合センター
184	人権全般	夢のまにまに 映画学校の学院長の木室は、学生の村上が何かと気にかかる。村上は60年前の戦争で多くの若者が死んだことの苛立ちを木室にぶつけ、木室の妻・エミ子も戦争で自分だけ生き残ってしまったという自責の念にとらわれていた。やがて村上は精神病を患い自殺をほのめかし、何とか思いとどませようとする木室は手を尽くすが……。	2008年 106分	総合センター
185	人権全般	ほんとの空 近隣に高齢者や障がい者、外国人が多く住んでいることに不安やイライラを募らせる弓枝。ある日、息子に友だちができたのだが、彼は福島からの被災者だった…。誤った偏見に自分から気づくことの大切さを問う。	2012年 36分	人権推進 多文化共生課
186	人権全般	虹のきずな (アニメーション) 大学生のひかりは図書館で絵本の読み聞かせボランティアをしているが、そこにはいつも独りぼっちでいる中国人の男の子がいた…。傍観者からの脱皮を訴える啓発教材。	2011年 31分	人権推進 多文化共生課
187	人権全般	虹色のビー玉 「偏見」失いかけた家族の絆 小さな家族の絆の再生を描くことで、身近にある偏見や差別に目を向けてもらい、人権への理解を深めるとともに、誰もが幸福に暮らす権利があることを訴えるドラマ。	2010年 50分	人権推進 多文化共生課
188	人権全般 (セクマイ)	いろんな差別 LGBTに聞いてみよう! (アニメーション) 小学生でも理解しやすいようにアニメーションと実写を取り混ぜた30分の映像。先生が知っておいてほしい情報満載の30分の映像も収録。	2012年 71分	総合センター
189	人権全般	ヒーロー 近年、社会から孤立する人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題となっている。家族や地域、職場でのつながり、つまりは血縁や地縁、社縁の希薄化によって引き起こされる問題である。こうした「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対し、何ができるのかを提起する。また、「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権課題に対し、傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを考える。	2013年 34分	人権推進 多文化共生課
190	人権全般	マザーズハンド ~お母さんの仕事~ 家族とは何か?人権とは何か?差別とは何か?ある家族の姿を描くことで、身近にある偏見や差別に目を向け、人権への理解を深めるとともに、誰もが幸福に生きていく権利を持っていることを知ってもらうために製作された作品。	2012年 19分	人権推進 多文化共生課
191	人権全般	新・人権入門 企業における人権課題を16のショートドラマでわかりやすく解説。ドラマパートと、それを演じた俳優たちがそのシーンを振り返るパートの2部構成になっています。視聴者がドラマの出演者といっしょに学び、悩み、考えることのできる作品です。	2014年 25分	総合センター
192	人権全般	みんな生きている 東日本大震災。時間の経過とともに、被災の記憶が風化されていく中、被災地の福島県浜通りを舞台に心の回復と再生を描いた作品。	2014年 30分	人権推進 多文化共生課
193	人権全般	イメージネーション 想う つながる 一歩ふみだす いじめ問題、部落問題、発達障がいに関することを収録。まず「想像」すること、相手のことを知ること、想うこと。そこから人と人とがつながっていく。あなたは、イメージネーションできていますか?	2013年 34分	人権推進 多文化共生課
194 195	人権全般 (セクマイ)	あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権 ★No.194→人権推進多文化共生課(同じものが2枚あります) No.195→総合センター 性的マイノリティについて、人権の視点で理解を深めるための作品。入門編として活用ください。〈作品監修 宝塚大学看護学部教授 日高 庸晴〉	2014年 34分	人権推進 多文化共生課 総合センター
196	人権全般	なぜ企業に人権啓発が必要なのか 日常の会社生活の1コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成し、パワハラ、セクハラ、障害者、外国人、性別に対する差別や思い込み、公正採用選考と同和問題、それぞれの問題点と解決に対するヒントを提示している作品です。	2014年 22分	総合センター

197 198	人権全般	国際連合創設70周年記念 すべての人々の幸せを願って ～国際的視点から考える人権～ ★No.197⇒人権推進多文化共生課/No.198⇒総合センター 世界人権宣言と国際人権諸条約が自分達の身近にある人権とどのように関わっているかを国際的な視点から考えるために、女性、子ども、障がいのある人、外国人の人権課題とそれぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介しています。	2015年 35分	人権推進 多文化共生課 総合センター
199	人権全般	カラフル Colorful このビデオは、両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取りあげる。収録テーマは、他人の噂、子どもの結婚、多様性を認める社会へ、LGBT。	2014年 31分	人権推進 多文化共生課
101-A	人権全般 (セクマイ)	考えよう!ハラスメントvol.2 LGBTを知ろう LGBTの人たちを取り巻く現状を理解し、職場や教育現場でどのように取り組んでいけばよいのかを、イラストやデータ、事例などを豊富に盛り込んでわかりやすく解説している作品です。	2016年 20分	総合センター
102-A	人権全般 (インター ネット)	インターネットと人権 (加害者にも被害者にならないために) インターネットは、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものだ。本作品は、主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用方法・対策についてわかりやすくまとめたDVD。	2016年 30分	人権推進 多文化共生課
103-A	人権全般	わたしたちが伝えたい、大切なこと (アニメーション) 日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描く。全国中学生人権作文コンテスト入賞作品を原作とした、アニメーションの3本立て。	2017年 31分	人権推進 多文化共生課
104-A	人権全般	光射す空へ (アニメーション) 若年性認知症、同和問題、セクシュアル・マイノリティの問題に触れながら、大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描く。	2016年 46分	人権推進 多文化共生課
105-A	人権全般	コール&レスポンス ～ハラスメント～ ※字幕・副音声付き ハラスメントを防ぐことは人権尊重の上で重要な課題です。そのためには十分なコミュニケーションを取ると同時に、相手が言いにくい立場にいる場合は、相手の心を十分に推し量り、思いを聞いてみる事が大切です。この作品では、職場におけるコミュニケーションの重要性を、「コール&レスポンス」というキーワードに仮託して考えていきます。	2017年 24分	人権推進 多文化共生課
106-A	人権全般 (セクマイ)	岸本誠の目からウロコのLGBT基礎講座 ※字幕付き リアルな体験例を下に、LGBTの基礎の基礎から現状、さらには「これから」を分かりやすく丁寧に解説しています。いま、求められる最新・最適・最強のテキストです。	2017年 32分	人権推進 多文化共生課
107-A	人権全般 (セクマイ)	気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ④ 誰もがその人らしくーLGBTー ※字幕・副音声付き 上司の性的少数者を揶揄する発言やセクシュアルハラスメントにつながる発言をきっかけに、主人公が、周りにいたけれども見えていなかったLGBT(性的少数者)の人たちについて理解を深めていく作品です。この作品は、4つのチャプターごとにドラマと振り返り解説が展開していく形で構成されています。	2017年 20分	総合センター
108-A	人権全般	アニメ・よっちゃんの不思議なクレヨン (アニメーション) おばあちゃんから不思議なクレヨンもらったよっちゃん。そのクレヨンで絵を書くと、次々と描いたものが飛び出してきました。心の優しいよっちゃんは、描いた果物を欲しがると動物たちに渡してしまいます。自分の欲しいものを全部動物たちに渡してしまい、悲しくなったよっちゃんが、最後に残ったクレヨンで描いたものは…。	2004年 22分	総合センター
109-A	人権全般	未来を拓く5つの扉 ～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～ ※字幕・副音声付き 全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。このビデオでは、入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介しています。	2014年 46分	人権推進 多文化共生課
110-A	人権全般	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会 ※字幕・副音声付き 近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。このDVDは、企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成しています。	2017年 40分	人権推進 多文化共生課
111-A	人権全般	わかっカフェへようこそ ※字幕・副音声付き 街の小さなカフェ「わかっカフェ」に集まる人々のエピソードをオムニバス形式で紹介。インターネットによる人権侵害・高齢者の人権・外国人の人権という3つの切り口から、身近な人権問題について考えることができる作品です。	2016年 35分	総合センター
112-A	人権全般	君が、いるから ※字幕・副音声付き 自己肯定感の低い主人公がアルバイト先で出会う人々とのふれあいを通して、新たな価値観に気づいていきます。子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人が関わり支え合いながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	2019年 33分	人権推進 多文化共生課
113-A	人権全般	気付いて一歩ふみだすための人権シリーズ⑥ わからないから、確かめ合うーコミュニケーションー ※字幕・副音声付き ハラスメントや差別的取り扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを中心に、それらに共通する解決策として、コミュニケーションを提示します。	2018年 29分	総合センター

114-A	人権全般	はじめて学ぶLGBTs① 男らしい色?女らしい色? ※字幕・副音声付き アニメーションにより描かれた色鉛筆と人間との物語を通して、思い込みや偏見にとらわれことの無意味さに気づき、他者を尊重する姿勢を学びながら、多様性を肯定的に捉える完成の芽を育てます。	2020年 12分	人権推進 多文化共生課 総合センター
115-A	人権全般	知りたいあなたのこと 外見からわからない障害・病気を抱える人 ※多言語対応版 外見からはわからない障害や病気を抱えている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が理解されず、辛い思いをすることもあります。この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんと発達障害をもつ大学生を取材しました。当事者の方の話を通して、私たちにできる配慮を共に考えていきます。	2019年 21分	総合センター
116-A	人権全般	パパは女子高生だった! ~前田 良~ 女性から男性へ性別転換し、結婚、その後二人の子をもつ父親となった前田良(37)。一審、二審で敗訴しながら、最高裁で勝訴、日本で初めて戸籍上で実子と認めさせた。 ※広報かわにしコラム「生きる」令和2年度執筆者	2019年 28分	人権推進 多文化共生課
117-A	人権全般	見過ごしていませんか 性的少数者(LGBT)へのセクシュアルハラスメント 性について考えるとき、単純に「男性/女性」だけでなく、様々な切り口があります。男性だと思ふ人、女性だと思ふ人、中性だと思ふ人、性別は決めたくないという人など様々なあり方があります。性的マイノリティといっても、決してひとくくりにはできません。本当に様々な「人生」があり、その問題もニーズも様々です。性的マイノリティの問題は、テレビの中の話でも外国の話でもありません。誰もがどこかで関わりがある、家族、親戚、友人、同僚の話なのです。このDVDでは、職場における性的少数者に対するセクシュアルハラスメントについて考えます。	2017年 29分	人権推進 多文化共生課
118-A	人権全般	カンパニユラの夢 ※兵庫県人権啓発ビデオ 作品のテーマは、「超高齢化社会とひきこもり(8050問題)」です。 近年、主に「80代」の高齢の親が「50代」のひきこもりが長期化した子を支えている家庭が増加しています。「8050問題」とは、こうした家庭が地域社会との接点を失い、親子ともども生活が困窮するなどの課題を抱え、将来への展望が見いだせない超高齢化社会における新たな社会問題のことです。急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうることと認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	2020年 36分	人権推進 多文化共生課
119-A	人権全般	これが私の生きる道 仲岡しゅん LGBTシリーズ 事務所内図書館~多様性を大切にしたい!本棚にはLGBTや部落問題の他、子どもの絵本、叶姉妹の写真集まで多彩に見よ!このしなやかさ~「先生」はイヤ、「しゅんちゃん」でいい。明け透けな気性に加えて美の探究者。柔軟な肉体は、しなやかな精神を表す。 マイノリティの力に~弁護士になった理由は、周りのマイノリティ当事者たちの力になりたいと思ったこと、法律という戦うための武器を手に入れること。	2019年 30分	人権推進 多文化共生課
120-A	人権全般	シェアしてみたらわかったこと 人権学習教材ビデオ 東京のどこかにあるシェアハウス。ここには、年齢も社会的立場も異なる人たちが、同じ屋根の下暮らしている。上京して、期待を胸に入居したシェアハウス。そこに暮らしているのは、個性豊かな住人たち。この住人たちの交流は戸惑いの連続だけど、時間、空間、思いをシェアして、初めて気づくこともある。私が、シェアしてみたらわかったこと。	2019年 46分	人権推進 多文化共生課
121-A	人権全般	くうしの -あなたがいるだけで- (アニメーション) 認知症の犬・しのと、介護猫・くうの、感動の実話をもとにした道徳・人権教育アニメーションです。 もし、あなたの大切な人が認知症になってしまったら、あなたはその人に何をしてくれることができるでしょうか。 年も離れていて、性別も違う犬と猫の関係性を通して、視聴した子供たちが自然と考える事ができる、心がほっこりする物語です。 幼児・小学生向け 道徳・人権教育アニメーション教材	2020年 12分	総合センター
122-A	人権全般	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ①危機管理としての授業の必要性 学校におけるLGBTsの取り組みの必要性を喚起するとともに、当事者である児童生徒が傷つかないような実践や学校のあり方を提案する映像教材 文部科学省教育映像等審査選定作品 LGBTsの学齢期におけるいじめ被害、自傷行為の高さが国内外の研究で示されている中、教育現場は危機管理の一環としてこの問題を捉えることが重要です。 本巻では、LGBTsに関する授業の実現を目指す教師の姿を通し、実践的な取り組みに繋がる様々なヒントをお伝えします。【監修】日高庸晴(宝塚大学看護学部教授)	2020年 38分	総合センター
123-A	人権全般	はじめて学ぶLGBTs② 好きになってはいけない? 同性を好きになった児童の物語を通して、恋愛感情のあり方は決して画一的なものではなく多様であることを学ぶ映像教材。自らの性的指向や性自認に気付く児童も少なからず存在する年代だからこそ、当事者児童の自尊感情を育めるように配慮しています。具体的な指導案を示す教員向け映像も収録。 【監修】日高庸晴(宝塚大学看護学部教授)	2020年 22分	総合センター
124-A	人権全般	こんばんはⅡ さまざまな事情で義務教育を終えられなかった人が通う「夜間中学」を知ってもらいたいと教員や卒業生、支援者らが、各地の夜間中学を取り上げた映画「こんばんは2」の製作を進めている。15年前に完成した森康行監督(68)のドキュメンタリー映画「こんばんは」(92分)の特別版。公立の夜間中学は現在、8都府県に31校しかないが、各地で新設が検討されている。支援者は「公立夜間中学を全国に増やすすべし」と意気込んでいる。 【監督】森康行【ナレーター】大竹しのぶ【制作】夜間中学校と教育を語る会	2018年 37分	人権推進 多文化共生課

125-A	人権全般	夕焼け ※兵庫県人権啓発ビデオ ----- 今回の作品のテーマは、「ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～」です。相手が家族や親しい人であっても、毎日誰かの介護や世話をすることは、身体的、精神的、さらに経済的にも大きな負担がかかります。特にヤングケアラーは、学校に通い、教育を受け、友人と交流を通して成長する重要な時期であるにもかかわらず、その状況が周囲から見過ごされることが多いという問題があります。	2021年 35分	人権推進 多文化共生課
126-A	人権全般	映像で学ぶジェンダー入門 ①男らしさ/女らしさ -社会を覆うジェンダーステレオタイプ- ----- 男らしさ、女らしさといった考え方は人の無意識に存在します。そうした考え方はしばしばステレオタイプ化し、多くの弊害をもたらします。「スイーツ男子」といった言葉の裏にどのような性別の固定観念が潜んでいるのか、また、教育の場においてそうした固定観念はどのような影響をもたらしているのか、ジェンダー・ステレオタイプを取り巻く多くの事例について考えます。また、フェミニズムやバックラッシュといったジェンダーを考えるうえで重要な事柄についても学びながら、様々な事例から身近なところにひそむ性別役割規範について考え、現代の社会における課題について考えます。	2021年 22分	人権推進 多文化共生課
127-A	人権全般	映像で学ぶジェンダー入門 ②多様な「性」 ----- ひと言に「性」と言ってもそのあり方は非常に多様です。日本の社会において、「男」か「女」いずれかの性別に割り振られ生活することが前提となっています。この巻では性自認、性役割、性的指向といったジェンダー学における「性」の考え方について学び、性のあり方の多用性について様々な事例をもとに考えます。また、LGBTをはじめとした性的マイノリティの存在、その当事者の抱える生きにくさなどの様々な問題についても触れ、多様な「性」を認める社会を作るうえで直面する多くの課題について考えます。	2021年 22分	人権推進 多文化共生課
128-A	人権全般	君が笑っていた -ソーシャルディスタンスの罫- ----- 新型コロナ観戦は、感染者、その家族・親族や、病院関係者への誹謗中傷・差別を生み出しました。単身・シングルマザー世帯などすでに経済的に逼迫していた人々に加え、学生・一般世帯の人々をも厳しい生活状況へ追い込んでいます。本作は、急激に姿を変える社会の現実を通じ、差別やいじめのない社会とは何かを語り合う作品です。全編視聴と前編「問題提起」・後編「解決へ向けて」画10分程度の視聴が選べます。	2021年 23分	人権推進 多文化共生課
129-A	人権全般	ずっと助けてと叫んでた ----- 第1部 ずっと助けてと叫んでた 37分 プロローグ ほしおか虹色 1.家庭内性的虐待 2.自傷行為と依存症 3.性暴力被害者と性ビジネス 4.母の死と薬物依存 5.回復への長い道 エピローグ 第2部 助けてと言えない子どもたちのために 26分	2019年 63分	人権推進 多文化共生課
130-A	人権全般	スマホは情報モラルが大切 1巻 ネットいじめをしない! SNSでの出会いに気を付けよう ----- 1巻「ネットいじめ」「SNSでの出会い」、ドラマ編と解説編で構成。視聴した生徒が、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかと考え、情報モラルが育成されることを狙いとします。多くの中学生・高校生が、スマホを使ってSNSを利用しています。SNSは他人とコムにケーションをとるのに大変便利で、上手に使えば人生を豊かにし、社会を良い方向に変える力を持っています。反面、正しく使用しないと相手を傷つけたり、自分の身に危害が及ぶこともあります。SNSを利用するには、情報モラルを身につけ、よく考えた上でメッセージや写真や動画を投稿することが何よりも大切なのです。	2021年 25分	総合センター
131-A	人権全般	スマホは情報モラルが大切 2巻 もう一度よく考えよう! 写真や動画の投稿 ----- 1巻「ネットいじめ」「SNSでの出会い」、ドラマ編と解説編で構成。視聴した生徒が、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかと考え、情報モラルが育成されることを狙いとします。多くの中学生・高校生が、スマホを使ってSNSを利用しています。SNSは他人とコムにケーションをとるのに大変便利で、上手に使えば人生を豊かにし、社会を良い方向に変える力を持っています。反面、正しく使用しないと相手を傷つけたり、自分の身に危害が及ぶこともあります。SNSを利用するには、情報モラルを身につけ、よく考えた上でメッセージや写真や動画を投稿することが何よりも大切なのです。	2021年 18分	NEW 総合センター
132-A	人権全般	Voice!! 人権の教室 ----- 舞台は、休日の学校で開かれる「人権の教室」。招待状で招かれた3人の中学生・高校生が「声」を手がかりに3つのテーマについて学んでいきます。 〈オリンピック・パラリンピックの人権〉〈北朝鮮による拉致問題〉〈こどもの人権(いじめ問題)〉	2018年 38分	NEW 総合センター
133-A	人権全般	パースデイ ※兵庫県人権啓発ビデオ ----- 「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」この物語の主人公・美由紀は、娘だと思ってきた笑花(尊)から自認する性が男性であることを告げられ、激しく動揺します。親としての感情ゆえに、はじめは拒絶する美由紀ですが、周囲の人々との交流などにより、性の多様性について少しずつ理解が進み、自分らしく生きようとする我が子の苦悩や願いに気づき、向き合っていくとします。	2022年 37分	NEW 人権推進 多文化共生課
134-A	人権全般	アンコンシャス・バイアスをなくそう ----- アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の偏見、思い込み」のことです。近年、多様性の理解を進め、ハラスメント防止に欠かせないキーワードとして注目されています。本作品は、一般向けにアンコンシャス・バイアスを取り除くためにできることは何か、そのポイント等について紹介しています。	2022年 33分	NEW 人権推進 多文化共生課
135-A	人権全般	「レインボーストリーズ」LGBTと社会 ①職場 ～声に出せないハラスメント～ ----- 社会人が生活の中で多くの時間を過ごす職場。ここでは無自覚に発せられる言葉がLGBTs当事者を傷つけ、労働意欲を低下させたり、メンタルヘルスを悪化させる原因にもなります。そうしたハラスメントをはじめ、トランスジェンダーが直面する就職活動の困難や情報管理の甘さから起こる無自覚なアウトティング、制服規程や同性パートナーを認める社内規程整備の必要性など、職場で起こりうる様々な事例を描き、その課題に取り組むためのヒントを示します。「レインボーストリーズ」LGBTと社会(全4巻のうちの2巻)	2022年 約25分	NEW 人権推進 多文化共生課

136-A	人権全般	「レインボーストリーズ」LGBTと社会 ②家族 ～自分の子どもが当事者だったら～	2022年	NEW
		同じ家に住み生活を共にする家族。最も近い存在だからこそ、本当のことが言えず苦しんでいるLGBTsの人々は数多くいます。子どもからカミングアウトを受けた場合、親は前向きに受け入れられるのか。この明暗を分けるのは、わが子との関係性、性的指向や性自認の多様性への理解、そしてLGBTsが身近に存在するというリアリティではないでしょうか。本巻では、性の多様性に関して実感を伴った理解がない親が、ゲイである青年期の息子を追い詰めてしまう様子、親子が葛藤しながら関係を再構築する姿を描きます。 「レインボーストリーズ」LGBTと社会(全4巻のうちの2巻)	約21分	人権推進 多文化共生課
137-A	人権全般	「レインボーストリーズ」LGBTと医療 ①患者とのコミュニケーション	2022年	NEW
		この巻では同性愛者や性別違和を持つ患者とのコミュニケーションにおける注意点をドラマで描きます。先輩看護師とのOJT(On the Job Training)のドラマを通して、無自覚に発せられた言葉が相手を傷つけていないかを考えます。 「レインボーストリーズ」LGBTと医療(全2巻のうちの1巻)	約21分	人権推進 多文化共生課
138-A	人権全般	今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応 ロングバージョン(35分52秒)・ショートバージョン(13分27秒)	2023年	NEW
		今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重する事が求められています。 本DVDでは、法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育啓発推進センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取り組みを進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。 ※同じDVDが2本あります。	L約35 S約12	人権推進 多文化共生課
204	部落問題	音次郎の庭〈DVD→人権推進多文化共生課・VHS→人権推進多文化共生課/総合センター〉	2000年	人権推進 多文化共生課 総合センター
		室町時代、庭づくりの技をうけついでいた庭者は、山水河原者(せんずいかわらもの)とも呼ばれ、さげすまされていた。しかし、日本の伝統文化はこのような下積みの民衆が差別と闘いながら創造し、必死で支えてきた。このことを山水河原者音次郎の京都龍安寺石庭づくりに仮託して描き、文化・人権について考える。	51分	
273	部落問題	おじいちゃんは丹波杜氏 (アニメーション) ※解説CDとセット	2009年	総合センター
		被差別地区の人に対しては堅く門が閉ざされていた酒造現場。この不合理を解決するために働きかけが行われ、ある青年が就労できることになった。この物語は、青年の実体験を基に、酒造りに関わる多くの人々の願いや努力を語り継いでいこうという想いを込めて制作した人権学習教材。	17分	
275	部落問題	同和問題と人権 -あなたはどうか考えますか- (アニメーション)	2008年	人権推進 多文化共生課
		同和問題とは一体どのような問題なのか、どうしてこのような問題が存在し、何故なくならないのか。同和問題を正しく理解し、同和問題を解決するためにはどうすればよいのか。	28分	
276	部落問題	部落の心を伝えたい⑪ あすなろを生きる ～野上早苗～	2009年	総合センター
		40年以上も続く福岡の「あすなろ解放学級」。今も地区内外から毎週大勢の人たちが集い、学び合い、話し合い、笑い、涙する。	26分	
277	部落問題	部落の心を伝えたい⑫ 若い力は今 ～吉岡綾～	2009年	総合センター
		付き合っている恋人から差別的なことを言われ、即座に言い返すことができなかつた自ら差別体験を通して、「差別をなくす人生」を生きる吉岡綾さん。若さ溢れる熱く力強い語りは、行政・企業・学校で大きな反響を呼んでいる。	30分	
278	部落問題	部落の心を伝えたい⑬ 母娘で問うた部落差別 ～坂田かおり・愛梨・瑠梨～	2010年	総合センター
		鳥取県米子市を拠点に西日本で幅広く活動する母娘講演が今、大きな反響を呼んでいる。実体験を下に、部落差別をはじめあらゆる差別にNO!を	30分	
279	部落問題	部落の心を伝えたい⑭ 人権感覚を磨きませんか ～大湾昇～	2010年	総合センター
		沖縄出身の父と部落出身の母の下、徳島県で生まれ育った大湾さん。心理テストや自筆の漫画を使ったユニークでユーモラスな講演が人権問題を分かり易く説き起こす。	30分	
280	部落問題	部落の心を伝えたい⑮ 夫婦で差別と闘います!～石井真澄・千晶～	2010年	総合センター
		部落出身の妻と部落外の夫とは結婚差別を契機に講演活動を始めた。異なる立場からの夫婦講演が差別の実態を重層的に暴いていく。	30分	
281	部落問題	差別意識の解消に向けて 土地差別問題を考える	2007年	人権推進 多文化共生課
		大阪府内で実際にあった宅地建物取引での差別事象をドラマで再現。住民や業者から、購入予定の不動産の所在地が同和地区かどうかの問合せを受けたときの対応例を紹介し、行政職員として、どのように対応すべきかを、自分自身の問題として考えさせる。	24分	
282	部落問題	部落の心を伝えたい⑰ 仕事帰りが私の仕事 ～植並鈴枝～	2011年	総合センター
		10代～中学3年での父の死。以後、学業と仕事を両立させ、あらゆる働く現場を体験。それが現在の仕事=就労支援に結びついた。30代～4人の子育てで芽生えた社会とのつながり。様々な資格を取得。20年前、C-STEPの前身(社)同和地区人材雇用開発センターに就職。40代～解放運動に生きた父の口癖は「仕事保障」働くことで社会とつながる。就職困難者の就労支援を通し人権確立の社会作りを担う。	25分	
283	部落問題	調べられた土地 避けられた地域 -土地差別調査の根絶に向けて-	2011年	総合センター
		土地差別調査が差別が差別を生み出す再生産のシステムとして機能してきたことを重視し、その根絶に向けた啓発教材として制作。調査会社や広告代理店、宅建業者でのやりとりをもとにイメージ再現。	20分	

284	部落問題	部落の心を伝えたい⑱ 無知を許さず ～連続大量差別はがき事件・浦本誉至史～ 実際に体験した差別事件の真相を探りながら、研究者として江戸の被差別民衆から学ぶ浦本さん。同和問題をはじめとするあらゆる人権問題は「無知」に起因することを具体的に解説する。	2012年 30分	総合センター
285	部落問題	部落の心を伝えたい⑲ 差別を許さない自分づくり ～寝た子を起こして30年・長谷川サナエ～ 部落差別への解放運動を長年行ってきた長谷川が“寝た子を起こすな”の風潮の中で、講演活動や被部落差別の伝統芸能の復活などをする姿を追った。	2012年 20分	総合センター
286	部落問題	部落の心を伝えたい⑳ 52歳の立場宣言 ～なかまがいれば人は変わる・岡潤爾～ 皮剥ぎ職人として、多くの差別事件を体験した岡が「本気で語り、共感し、本気で動く」信念を世に伝えていく作品。	2012年 26分	総合センター
287	部落問題	部落解放運動の歩み 人間は尊敬すべきもの 部落解放運動の歩みを戦前編、戦後編Ⅰ、戦後編Ⅱの3部作として構成して、分かりやすく解説する。部落問題の入門的な教材として学校、市民啓発、企業研修、市民活動、解放運動など多様な場で使える。	2012年 60分	人権推進 多文化共生課
288	部落問題	部落の心を伝えたい㉑ 「結婚差別400事例」 弘瀬喜代 「通婚率90%以上」そんな統計から、部落差別は解消したかのような誤った認識が広がっている。数字の奥にある厳しく悲しい現実を知る。	2013年 28分	総合センター
289	部落問題	部落の心を伝えたい㉒ 「心の窓を拓いて」 明石一郎 差別解消の道筋は「教育のチカラ」と確信する明石一郎さん。子どもの暮らしから人権を考える現役の校長先生。明るく笑い溢れる講演は、今日の部落問題を誰にもわかりやすく明快に論じる最適な「入門編」。	2013年 30分	総合センター
290	部落問題	部落の心を伝えたい㉓ 「歩の歩み80年」 山本栄子 60歳を過ぎてから夜間中学に入学、夜間高校を経て、大学に進学した山本栄子さん。識字を求め、部落差別と闘い続けてきた情熱溢れる人生から掴んだ将来展望を、エネルギーに全国各地で語り続ける。	2013年 26分	総合センター
291	部落問題	シリーズ映像で見る人権の歴史 第1巻 東山文化を支えた「差別された人々」 世界遺産である銀閣寺や龍安寺の庭園などをつくったのは、実は差別されていた人々であったという歴史事実は、被差別の人たちのマイナスイメージを逆転させました。東山文化を支えた人々の様子を丁寧に描いた作品で、学習教材としても利用できるようになっています。	2014年 16分	総合センター
292	部落問題	シリーズ映像で見る人権の歴史 第2巻 江戸時代の身分制度と差別された人々 最新の研究成果を反映させ、中世に始まったすべての身分が、居住地や税制、戸籍などで固定され、江戸時代に「制度化」されたことを新しい図式を提示して分かりやすく解説するとともに、それを乗り越えて生きた人々の姿を明らかにした作品です。学校教育にも使っていただけます。	2014年 16分	総合センター
293	部落問題	「部落の心を伝えたい」㉔ 皮革から見える部落問題～皮革研究者・柏葉嘉徳～ 皮革を通して部落問題を伝え続ける柏葉嘉徳さん(71)。自身の工場でのユーモア溢れる講演と皮なめしの体験学習が参加者の意識を大きく変えていく。	2014年 27分	総合センター
294	部落問題	「部落の心を伝えたい」㉕ 芸能と差別 ～ひとり芝居・中西和久～ 芸能万華鏡「しのだづま考」を演ずる中西和久さん。三代続く役者稼業の歴史は、100年に及ぶ部落解放運動の歴史と重なっていく。	2014年 23分	総合センター
295	部落問題	「部落の心を伝えたい」㉖ 生きた童話を届けたい～猿まわし・筑豊大介～ 途絶えていた猿まわし芸を復活させた功労者の一人・筑豊大介さん(58)。叩き仕込みではなく言って教える本仕込みの教育論が注目を浴びる。	2014年 28分	総合センター
296	部落問題	あなたに伝えたいこと 兵庫県企画作品。インターネット時代における同和問題を取りあげる。同和問題を正面から取り上げ、この問題が決して他人事ではないこと、正しく知ることが同和問題をはじめとする人権問題の解決につながることを描いている。	2014年 36分	人権推進 多文化共生課
297 298	部落問題	人権アーカイブ・シリーズ ①同和問題～過去からの証言、未来への提言～ ②同和問題 未来に向けて ①は、人権教育、啓発担当者向け ②は、一般向け 同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等についてわかりやすく簡潔にまとめている。	2014年 ①61分②19分	人権推進 多文化共生課 総合センター
299	部落問題	シリーズ映像で見る人権の歴史 第3巻 近代医学の基礎を築いた人々 江戸時代中期、医学の分野では山脇東洋が日本初の医学解剖を行い、17年後杉田玄白は、『ターヘル・アナトミア』を手に人体解剖を見学しました。そのとき実際に臓器を解剖したのは、差別されてきた人々でした。このDVDでは貴重な原書を取材し、近代医学の発展に貢献した人々の姿をいきいきと描いています。	2015年 17分	総合センター
201-A	部落問題	シリーズ映像で見る人権の歴史 第4巻 明治維新と賤民廃止令 長州藩では差別された人々が「維新団」などの名で命をかけて幕府軍と戦いました。しかし、成立した明治政府が出した「布告」は税を取ることが真の目的であり、加えて壬申戸籍の差別的な記載を許可したことなどで、差別はなくなりませんでした。最新の研究を基に公文書を読み解き、部落差別が近代になっても存続した構造を丁寧に描いています。	2015年 18分	総合センター
202-A	部落問題	部落の心を伝えたい㉗ 出会いから学ぶ～しなやかな新世代・高田美樹～ 鳥取県の山間の被差別部落に生まれ育った高田美樹さんは、高校生のときに社会問題研究部のメンバーと出会ったことで生き方を変えます。暗く、重く、辛い話題になりがちな部落問題について、明るく、軽く、楽しく伝える話しぶりはこれまでになく、若者にも伝わりやすい内容になっています。	2015年 29分	総合センター

203-A	部落問題	<p>シリーズ映像でみる人権の歴史 第5巻 渋染一揆を闘いぬいた人々</p> <p>江戸時代末期、岡山藩で起こった「渋染一揆」。現地を取材し、資料を詳細に分析し、その経過が説明されています。人としての尊厳をかけ、社会情勢を見抜き、知恵と力を合わせて戦った人々から、いま学ぶべきことは何かを問いかけています。この作品は、授業の補助教材、啓発のための学習教材として制作されています。解説、指導の手引き・資料類をPDF形式で収められています。</p>	2017年	総合センター
			18分	
204-A	部落問題	<p>渋染一揆（アニメーション）※字幕付き ★VHS版⇒No.213（総合センター）</p> <p>岡山県における歴史的事実である渋染一揆は、江戸時代の身分制の中で、服装などにまで加えられようとした差別政策に対して、人々が団結して立ち上がり、犠牲を払いながらも、人間としての誇りをかけた要求を掲げて闘い抜いた。</p>	2001年	総合センター
			30分	
205-A	部落問題	<p>私の中の差別意識 ～部落差別問題から考える～</p> <p>ドキュメンタリーを通じ、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのかを考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。</p>	2010年	人権推進 多文化共生課
			24分	
206-A	部落問題	<p>がんばるしじじい ～和泉の識字～ ★VHS版⇒No.208（人権推進多文化共生課）</p> <p>今、世界では約10億人もの非識字者（文字のよみかきで困っている人）がいるといわれています。このビデオは、豊かな内容を持つ識字活動を紹介します。識字という問題への理解を深めていきます。</p>	2001年	総合センター
			24分	
207-A	部落問題	<p>気付いて一歩ふみだすための人権シリーズ① そんなの気にしないー同和問題ー</p> <p>タイトルの「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身者だということを告白した時に返ってきた言葉です。告白した方は、相手にもっと知ってほしかった。告白された方は、相手が、そのままの相手でなにかかわらないことを伝えなかったその一言で二人はすれ違っていきます。</p>	2016年	総合センター
			17分	
208-A	部落問題	<p>部落の心を伝えたいシリーズ ⑳ ネット差別を許すな!～川口泰司～</p> <p>今、ネット空間を主戦場に部落差別が展開。差別情報の拡散、「部落地名総鑑」公開など、「ネットを悪用した部落差別」の現実を解説。何が問題で、どう解決するのか、道筋を示す。</p>	2019年	人権推進 多文化共生課
			28分	
209-A	部落問題	<p>映像で学ぶ部落差別解消推進法</p> <p>大阪人権博物館部落問題学習シリーズ</p> <p>①「部落差別解消推進法」の制定と部落差別の現在（15分） 赤井隆史（部落解放同盟大阪府連合会委員長）</p> <p>②「部落差別解消推進法」の法的意義と活用方法（15分） 丹羽雅雄（たんば法律事務所 弁護士）</p> <p>③「部落差別解消推進法」の条例化と私たちの役割（15分） 加藤真司（兵庫県たつの市市民生活部人権推進多文化共生課長）</p>	2019年	人権推進 多文化共生課
			45分	
210-A	部落問題	<p>シリーズ映像でみる人権の歴史 第7巻 水平社を立ち上げた人々 一人間は尊敬すべきものだー</p> <p>1922年3月3日、京都の岡崎公会堂に差別されてきた人々が集まり「人間は、差別するものでなく、尊敬すべきものだ」と宣言し、「全国水平社」を結成しました。</p> <p>このDVDでは、日本の人権の歴史を大きく変えた水平社創立の背景や、創立大会の様子、そこに参加した人々の想いを、現地や関係者を訪ねて取材し、明らかにしました。自分たちの力で差別をなくそうと立ち上がった人々の姿から学ぶことにより、「差別」や「いじめ」を根絶するため、いま何をなすべきか問いかけてます。</p>	2019年	総合センター
			17分	
211-A	部落問題	<p>シリーズ・人権を考える 考えてみよう 差別の歴史④ 「解放令」と近代の差別</p> <p>Chapter1 解放令による身分差別の廃止 身分制度の廃止／太政官布告「解放令」／「解放令」反対一揆</p> <p>Chapter2 新たに生まれた差別の徴し 貧困／疫病発生源という噂／部落民は人種が違うという噂</p> <p>Chapter3 差別をなくすための動き 部落改善政策／部落内部からの取り組み／社会の取り組み</p>	2021年	総合センター
			22分	
212-A	部落問題	<p>シリーズ・人権を考える 考えてみよう 差別の歴史⑤ 全国水平社の創立と解放運動の展開</p> <p>Chapter1 米騒動と被差別部落の立場 政府によって米騒動の終息に利用された被差別部落民</p> <p>Chapter2 全国水平社創立とその思い 人らしく生きる権利を被差別部落民の内部から主張</p> <p>Chapter3 戦争に向かう時代の部落差別 戦争協力に方向転換を余儀なくされた水平社</p>	2021年	総合センター
			21分	
213-A	部落問題	<p>シリーズ・人権を考える 考えてみよう 差別の歴史⑥ 戦後の部落問題とさまざまな差別</p> <p>Chapter1 戦後の部落解放運動の状況 基本的人権を謳うも無くならない差別問題</p> <p>Chapter2 続く部落差別の問題 就労・結婚 部落地名総鑑の存在／根強く残る結婚差別</p> <p>Chapter3 差別の背景と今も続く差別 さまざまな法改正でも現在まで続く差別問題</p>	2021年	総合センター
			24分	
214-A	部落問題	<p>シリーズ・人権を考える 考えてみよう 差別の歴史① 古代の身分と差別</p> <p>Chapter1 人類の誕生から縄文時代へ ヒトの誕生と世界への拡大／日本列島形成／縄文時代</p> <p>Chapter2 弥生時代からヤマト王権成立 稲作の伝来／弥生時代／ヤマト王権／身分制度の誕生</p> <p>Chapter3 律令制崩壊とケガレ観の発生 ケガレとは／なぜ日本でケガレ観が強まっていったのか</p>	2020年	NEW
			24分	総合センター
215-A	部落問題	<p>シリーズ・人権を考える 考えてみよう 差別の歴史② 中世のケガレ観と差別</p> <p>Chapter1 河原ノ者と差別 民衆が恐れたケガレ／仏教・神道の影響で強まる差別意識</p> <p>Chapter2 絵図に見る被差別の人々 ケガレ意識のなかったアイヌ／奈良時代から鎌倉時代へ</p> <p>Chapter3 芸能と庭師の仕事 被差別民に多かった職業／多くの功績を残した人もいた</p>	2020年	NEW
			21分	総合センター
216-A	部落問題	<p>シリーズ・人権を考える 考えてみよう 差別の歴史③ 近代の差別と被差別民のくらし</p> <p>Chapter1 差別された身分 豊臣秀吉の刀狩と検地政策／宗門改め帳／皮多と長史</p> <p>Chapter2 解体新書の陰で 老屠・屠畜を職業とする老人／解体新書にも大きく貢献</p> <p>Chapter3 渋染一揆～権利の主張 全国で強まる穢多身分への禁令／権利を守ろうとして</p>	2020年	NEW
			22分	総合センター

328	子どもの人権	ハードル（アニメーション）※劇場用映画 長編アニメーション映画。いじめを乗り越え、たくましく成長する子どもたちを描いた感動の物語。	2004年 84分	人権推進 多文化共生課
331	子どもの人権	ひとみ輝くとき 郊外のとある中学校の生徒である拓也の携帯電話には、ひっきりなしにメールが届く。それは、彼への誹謗中傷や現金を要求する内容であった。学校裏サイトをはじめとした現代の子どもたちによる「いじめの構造」を描いている。	2008年 35分	総合センター
332	子どもの人権	起こる前に考える 子ども虐待 「児童虐待」を子育ての現場を通して多面的に捉え、わかりやすく解説。虐待の実情や起こってしまう背景を探り、虐待を防ぐための対策を考えていく。	2009年 39分	人権推進 多文化共生課
334	子どもの人権	負けるな!千太 一さよならいじめ虫（アニメーション） 命とは?人間とは?いじめとは?素直な心でいじめを考えるある夏の物語。ある日、クラスの体の弱い女の子がいじめグループのターゲットになり、やがて同じクラスの千太が、このいじめを先生に告げろしたという噂が広がり、いじめの矛先は千太へと向けられる。	1996年 24分	人権推進 多文化共生課
335	子どもの人権	ネットいじめ ひとりて悩まない 友人の機嫌を損ねた中学2年生の美咲に、見知らぬ男性から不審メールが届くようになる。美咲のプロフのプロフィールが書き換えられ、ネット上に個人情報が公開されていた。	2010年 23分	総合センター
336	子どもの人権	やさしいオオカミ（アニメーション） 悪の代表・暴力の代名詞にされているオオカミ。実はやさしい心を持ち本当の強さを持っていたのです。	2004年 15分	総合センター
337	子どもの人権	金太郎心のちからもち（アニメーション） 小さな動物たちの中でクマのいじめが噂にのぼっていたが、クマにはクマの言い分があった。噂が噂を呼んで生まれた勘違いを、心のまっすぐな金太郎が正していくお話。2003年制作	2003年 15分	総合センター
338	子どもの人権	みんないばん!（アニメーション） 小さな森の小さな仲間たちのお話です。ともだちのいいところを認め、自分のいいところを見つけることのすばらしさを伝えます。	2006年 13分	総合センター
339	子どもの人権	誇り ―差別といじめは越えられる― 震災と津波…。そして更に原発事故と風評被害が福島県を襲いました。それは、風評被害と言う名の差別や偏見、いじめだとも言えます。情報に振り回され、真実を見ない…。その姿は差別や偏見を生み出す人々の心のしきみを象徴しています。本作品は、福島県の人々が経験した事実をもとに、差別やいじめを考えるものです。	2013年 30分	人権推進 多文化共生課
340	子どもの人権	ねずみくんのきもち（アニメーション） ロングセラーのねずみくんの絵本シリーズの中の「ねずみくんのきもち」を映像化した作品で、いじめや自殺が多い今、「おもいやり」や「想像力」の大切さを教えてくれる、ねずみくんから子どもたちへのメッセージです。	2008年 12分	総合センター
341	子どもの人権	いのちと死の授業 第3巻 いじめ・自殺を防ぐために ～子どもたちのいのちを守る～ いじめの被害にあった子どもたちや、自殺に至ってしまった子どもたちの例をドラマで再現し、自殺へ追い込まれてしまう原因や、いじめや自殺のサインについて解説。また、周りでの気づきを促したり、自尊感情を育てるために実際に学校で行われている活動も紹介しています。このDVDは、メニューで児童・生徒向け映像16分、教員向け映像34分の選択ができます。教員向け映像には、いじめをする側・される側のサインの解説、現代の子どもたちのいじめ・自殺の特徴、いじめが確認されたときに学校で行うべき対処、中学校での取り組み例を追加しています。	2017年 34分	総合センター
342	子どもの人権	防ごう 子どもの虐待 日常の子育てから考える 子どもの虐待が深刻な社会問題となっています。虐待の芽は日常生活の中に潜んでおり、誰もが虐待の当事者になる可能性があるともいえます。叩いてしまったり、親の価値観を押し付けてしまったりといった、日常の子育ての中で起こしがちな問題点を示し、虐待を防ぐために私たちができることを描いている作品です ※字幕選択可	2015年 28分	総合センター
343	子どもの人権	おれたち、ともだち!（アニメーション） 1時間100円で「ともだちや」をはじめたキツネ。でも、ともだちって、お金で買うものなの…?キツネとオオカミのゆかいでかわいい友情物語です。※14分のアニメ「ともだちや」「ともだちくるかな」「あしたともだち」「ごめんねともだち」の4話が収録されていて、作品の選択もできます。	2019年 52分	総合センター
344	子どもの人権	ココロ屋（アニメーション） 小学生のひろきは友達とケンカし「先生に心を入れ替えなさい」と言われます。そこへ心を取り替えてくれるココロ屋が現れ様々な心を替えてもらい…。心をテーマに自分とは何かを考えることができる作品です。	2014年 25分	総合センター
345	子どもの人権	むしむし村の仲間たち みんないいところあるんだよ（アニメーション） 外見や能力が異なるむしむし村の昆虫たち。時には、それぞれの違いが原因で相手を傷つけたり、自分なんてダメなんだと悩んだりもします。でも、誰でも苦手なこともあれば得意なこともあります。大切なのはお互いの違いを認め、相手の気持ちを思いやること。そして仲間と助け合っていくこと。そんなことを、子どもたちが楽しく学んでいけるアニメーション作品です。	2017年 13分	総合センター
346	子どもの人権	LGBTsの子どもを守る学校の取組 ①危機管理としての授業の必要性 小学校・中学校の教科書に性的指向と性自認の多様性についての記載が盛り込まれ、学校教育で性的指向と性自認の多様性を理解する取組が始まっています。しかしながら、LGBTsの学齢期におけるいじめ被害、自傷行為の高さが国内外の研究で示されており、教育現場は危機管理の一環としてこの問題を捉え、現状を十分認識した上での取組をしなければなりません。本巻では、LGBTsに関する授業の実現を目指し、学校としてできることを模索していく一人の教師の姿を描きます。取組に抵抗する同僚など実際の教育現場で起こりうる様々な困難も描き、その解決策を考え、問題が起こりつつも一歩前に進めるための多くのヒントを得ることができます。教員向け映像教材	2020年 38分	人権推進 多文化共生課

347	子どもの人権	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ②当事者に寄り添うために ～教育現場での落とし穴～ 実際の教育現場にLGBTsの児童生徒は一定多数存在しているのにも関わらず、実際にその当事者と対応経験のある教員は多くありません。当事者の多くは、誰にも話すことが出来ずにいる場合が多く、葛藤や苦悩を抱えることが少なくありません。最大限の想像力を持ち、こういった状況への配慮が求められます。 この間ではLGBTsの児童生徒のみならず彼らを取り巻く非当事者の児童生徒の存在やその関わりにあたって、教員が留意するべき心得や、学校での取り組みや授業展開の注意点などを物語仕立てで紹介し、教師の不適切な声掛けや授業展開がどのような深刻な事態をもたらす可能性があるか具体的に描く一方、目指すべき理想的な対応の一例も示します。教員向け映像教材	2020年 38分	人権推進 多文化共生課
348	子どもの人権	こどもしよくどう 子どもの目線から現代社会の貧困問題を描いたドラマ。小学5年生の高野ユウトは食堂を営む両親、妹とともに何不自由ないおだやかな毎日を過ごしていた。幼なじみのタカシの家は母子家庭で、タカシの母はわずかなお金を置いたままほとんど家に帰ってくることはなかった。そんなタカシを心配したユウトの両親は食堂に招き、頻りに夕食をごちそうしていた。ある日、ユウトたちは河原で父親と車上生活をしているミチルとヒカル姉妹に出会う。彼女たちの境遇を気の毒に思ったユウトは実家の食堂に姉妹を連れて行き、2人にも食事を出してほしいと両親に願う。そして数日後、姉妹の父親が姿を消し、ミチルたちは行き場をなくしてしまう。	2018年 93分	総合センター
349	子どもの人権	ズッコケ三人組のいじめをなくす作戦 (アニメーション) いじめに関わる深刻な事件が後を絶ちません。この作品では、ズッコケ三人組のクラスの中でいじめが起これ、その問題を三人組のメンバーが、どう考え、どのように話し合っ解決へと導いていくか、そのストーリーを展開しながら、視聴する子供たちに「いじめは絶対してはいけない」という強い意識を持ってもらい、いじめを防ぐためには、被害者のつらい気持ちに寄り添える思いやりを育てることが大切であることを訴えていくものです。(文部科学省選定)	2020年 15分	総合センター
350	子どもの人権	みんな友だち (アニメーション) 自分がペンギンであることを知らない「プウ」。飛べないはずの空を、カモメのように飛びたいとチャレンジします。	2003年 15分	NEW 総合センター
351	子どもの人権	ねずみくんのチョコッキ① (アニメーション) 第1話 ねずみくんのチョコッキ 第2話 りんごがたべたいねずみくん 第3話 コップをわったねずみくん 第4話 また!ねずみくんのチョコッキ 第5話 ねずみくんのブランコ 第6話 ねみちゃんとねずみくん	2006年 38分	NEW 総合センター
412	女性の人権	私らしくマイノリティを生きる 女性差別撤廃条約のいま セクシュアルマイノリティ、シングルマザーなど複合的な差別を乗り越えようとする当事者たちのインタビューとともに、部落、沖縄、アイヌ、在日コリアン、移住女性などマイノリティ女性たちがニューヨークの女性差別撤廃委員会で実態を訴えたときの様子、日本国内にはいまだに条約の趣旨に違反する法律が残されていることなど女性差別撤廃条約を実現する上での課題が学べるものとなっている。	2013年 20分	人権推進 多文化共生課
413	女性の人権	出産・育児への理解がない ～職場のマタニティ・ハラスメントを防ぐ～ 「マタニティ・ハラスメント(マタハラ)」とは、働く女性が「妊娠・出産を理由に職場で嫌がらせを受けたり、自主退職を強要されたり、不当な扱いを受けることをいいます。ある会社のハラスメント相談員が、マタハラに悩む女性社員から相談を受けたことをきっかけに、マタハラに関する知識を深め、周囲に理解と解決策を示していきます。	2015年 26分	総合センター
414	女性の人権	考えよう!ハラスメントvol.1 マタニティハラスメント 女性が安心して働ける職場環境に 最高裁から「妊娠で降格は違法」とする判決が出されるなど「マタニティハラスメント」が企業リスクを考えるうえで今や重要な課題となっています。マタハラと言動と対応、さらには具体的な防止対策についてイラストやデータも用いてわかりやすく解説しています。	2016年 20分	総合センター
415	女性の人権	あした咲く ※字幕・副音声付き 「幸せ」の形は十人十色です。自分で自分の生き方を選択し、女性はもちろんすべての人が「自分の花」を生き活きと咲かせることのできる多様性を尊重する社会をめざすきっかけとなるドラマです。	2018年 36分	人権推進 多文化共生課
416	女性の人権	どう守る 女性の人権 女性が活躍できる職場づくり 未だに職場に根強く残る女性への権利侵害の再現ドラマから、なぜ法があっても女性への権利侵害が起こるのか、その原因と対処法を具体的に説明しています。男女が「協働」できる職場づくりを目指すことが企業の発展につながることを訴えている作品です。	2012年 24分	総合センター
419	女性の人権	体験!発見!チャレンジ・ストーリー ～まちづくりにかける元気な女性たち～ コミュニティ・ショップの夢にチャレンジ!(29分) 滋賀県栗東市…NPO法人『びいめ〜る企画室』 歴史ある街並みを蘇らせる女性たち!(29分) 熊本県宇城市…『風の会』 “人”と“気持ち”をつなげたい!(29分) 京都市舞鶴市…NPO法人『舞鶴市女性センターネットワークの会』	2006年 90分	人権推進 多文化共生課
420	女性の人権	夢へのパスポート ～まちづくりにかける元気な女性たち～ 地域を活性化している元気な女性の活動3例と、その活動を支援するために内閣府が派遣したアドバイザーの取り組みを紹介。 ◆子育てNo.1の街を作りたい!◆地元の伝統食を現代に発信したい!◆団塊世代が“元気”を生み出す街にしたい!	2007年 87分	人権推進 多文化共生課
514	障害のある人の人権	今を生きる(ハンセン病) 10歳でハンセン病を発病し、岡山県国立療養所長島愛生園に隔離された石田雅男さんの人生を通して、ハンセン病強制隔離の「歴史と今」を学び、ハンセン病について正しく理解し、社会に残っている偏見や差別をなくしていこうとする心を育むドキュメンタリー。	2006年 49分	人権推進 多文化共生課
518	障害のある人の人権	アイム ヒア 僕はここにいる “発達障がい”の人たちのことを理解するとともに、どんな支援が必要であるかを学び、全ての人権が尊重される社会の実現について考える。	2006年 54分	人権推進 多文化共生課
519	障害のある人の人権	障害者雇用 最前線 特例子会社から地域の独立企業、街の洋菓子店まで、自前の知恵と工夫で障がい者雇用に取り組む最新のユニーク7事例を徹底取材。大切なのは、同じ目の高さ立つこと、そして、構えない・隠さない・飾らないの3つをモットーに。	2006年 36分	総合センター

521	障害のある人の人権	もも子 かえるの歌がきこえるよ (アニメーション) 障がいのある双子の妹もも子をおおしく思う兄・カの子の優しさと心の成長を中心に、家族愛と葛藤、健常者と障がい者の共生の問題を通して、生きる喜びと悲しみを感動的に描く。	2007年 80分	総合センター
522	障害のある人の人権	モップと箒 働きたいと願う人たちがいる。それを叶えてあげたいと願う人たちがいる。知的障がい者の就労支援という人と人とが真剣に向き合う職場。1年半の密着取材の中で見たものは。	2011年 30分	総合センター
523	障害のある人の人権	こころの病と向き合う うつ病や統合失調症など心の病は、誰でもかかる可能性のある病気です。しかし、こうした病気に対する偏見はまだまだ根強いものがあります。この作品は、心の病に罹患した人々や周囲の人々の日常をドキュメントし、心の病に対する偏見について問い直し、人権について考えていきます。	2012年 25分	人権推進 多文化共生課
524	障害のある人の人権	あだちファクトリー物語 障がい者雇用への新たな挑戦「企業内授産」。それは企業にとっても障がいのある人にとっても、たくさんのメリットがあります。-私たちの願いは、働くことで生きがいを得て自立すること。だから今日も、みんな企業内授産施設でがんばっている。	2012年 49分	人権推進 多文化共生課
525	障害のある人の人権	もういいかい ~ハンセン病と三つの法律~ ハンセン病問題の真実を、多くの証言に基づいて追っていきます。三つの法律をもとに展開された絶対隔離政策によって療養所の中で何が行われ、入所者がどのような生活を送っていたのか、その仕組みと実態を検証し、100年にわたるハンセン病問題の歴史を描いた作品です。	2012年 143分	総合センター
526	障害のある人の人権	秋桜 -コスモス- の咲く日 北九州市企画作品。この映画は、「目に見えにくい違い」の一つとして発達障がいを取りあげています。発達障がいのある人の生きづらさ痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々に重ね、「ともに生きることの喜び」を伝える。	2014年 34分	人権推進 多文化共生課
527	障害のある人の人権	聲(コエ)の形 中学生の将也のクラスに聴覚障害を持った硝子が転校してきたことからドラマが始まります。「いじめ」や「障がい者との共生」などの難しいテーマを自然に考えることができる作品です。	2015年 30分	総合センター
528	障害のある人の人権	青年期、成人期の発達障害者支援 第1巻 発達障害者を知っていますか? 発達障害者支援法に基づき「自閉症」「アスペルガー症候群」「LD」「ADHD」に焦点をあて、青年期、成人期の発達障がい者と家族に対する支援のあり方を学びます。	2008年 35分	総合センター
529 530	障害のある人の人権	人権アーカイブ・シリーズ ハンセン病問題 ~過去からの証言、未来への提言~ ①家族で考えるハンセン病 ①は人権教育・啓発担当者向け、②は一般向け。 ハンセン病に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心にわかりやすく簡潔にまとめられています。	2015年 ①56分 ②20分	人権推進 多文化共生課 総合センター
531	障害のある人の人権	こんにちは 金泰九(キムテグ)さん 第33回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞受賞作品「No! 言える強い心をもつ~ハンセン病から学んだこと~」をもとに映像化。作文の作者と金さんとの交流も紹介するとともに、かつてハンセン病を患った人々や、ご家族への人権侵害の歴史を二度と繰り返さないように強く訴えかけます。	2015年 25分	人権推進 多文化共生課
532	障害のある人の人権	青年期、成人期の発達障害者支援 第2巻 生活・余暇・就労支援をめぐる 「発達障害」は、一生涯に渡る支援が重要であるといわれていますが、青年期、成人期の発達障害者と彼らを支える家族に対してどのような支援が必要なのでしょう?第2巻では、ある一人の青年の姿を通して、生活と就労における支援の必要性を学びます。また、家族の抱える苦悩や発達障害の4つの形態についても紹介しています。	2008年 28分	総合センター
533	障害のある人の人権	障がいを越えて 自分とは違う存在や理解しにくい相手を恐れ、排除してしまう… そんな「心のバリア」を、あなたも感じたことはないですか? このビデオに出ている人たちの多くも、最初は壁を感じていました。しかし相手に向かって一歩踏み出すことで、必ず壁には穴があき、そこから新しい景色が見える… そんな三つの実例を紹介しています。	2016年 30分	総合センター
534	障害のある人の人権	風の匂い ※字幕・副音声付き 「障がいのある人の人権~共に生きることのよこび~」をテーマに、知的障がいがある幼なじみの友人との再会から、青年となった二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある『合理的配慮』についても触れ、自分自身の問題として考えるきっかけとなる人権啓発ビデオ。	2016年 34分	人権推進 多文化共生課
535	障害のある人の人権	人間回復の橋、心のかけ橋となれ ~ハンセン病を正しく理解するために~ 「ハンセン病の正しい理解を進める普及啓発事業実行委員会」制作の普及啓発DVD平成14年度 日本産業映画・ビデオコンクール 公共団体部門奨励賞受賞作品。	2002年 29分	人権推進 多文化共生課
536	障害のある人の人権	ハンセン病とは? (ハンセン病を正しく理解するために) 兵庫県健康福祉部疾病対策課企画の、ハンセン病問題に対する正しい知識の普及啓発のために作成されたハンセン病問題啓発DVD。	2014年 30分	人権推進 多文化共生課
537 537A	障害のある人の人権	弐雄二 ハンセン病とともに生きる 熊笹の尾根の生涯 国のハンセン病隔離政策の誤りを指摘し、今も根強く残るハンセン病の元患者らに対する偏見・差別と闘い続けてきた詩人・弐雄二(こだまゆうじ)さんの生涯が描かれています。この作品を通して、あらゆる差別をなくし、人権を守る努力をして欲しいとの思いと、そのことを考えるための重要なメッセージを投げかけています。	2018年 43分	人権推進 多文化共生課 総合センター

538		障害者は困っています! ~合理的配慮へのポイント①~(肢体不自由、視覚障害、聴覚障害) ※字幕付き	20分	総合センター
539		障害者は困っています! ~合理的配慮へのポイント②~(発達障害、知的障害、精神障害) ※字幕付き	20分	
	障害のある人の人権	様々な障がい別(①は肢体不自由、視覚障害、聴覚障害。②は発達障害、知的障害、精神障害)に障がい者の実態と日常での困り事を具体的に示しながら、主に自治体や企業、商店など、障がい者と接する機会が多い人たちはどのように対応していれば良いか、合理的配慮(障がいのある人もない人も平等な機会を確保するために行われる配慮)の観点から描いています。「合理的配慮」が私たちの日常に当たり前のこととして浸透し、自然にお互いを支えあう社会の実現を目指していくことを考えることができる教材です。	2018年購入	
540	障害のある人の人権	気付いて一歩踏み出すための人権シリーズ⑤ お互いの本当が伝わる時—障害者— ※字幕・副音声付き とある企業に勤める、視覚障害、身体障害、発達障害をもつ社員との出来事が収録されています。障がいのある人が、どんな場面で困っているのか、どんな「バリア」があるのかなどの具体例を挙げ、それをどう取り除いていけばいいのか、また障害のある人から発信することの重要性も示している作品です。	2018年 24分	総合センター
541	障害のある人の人権	障害のある人と人権 ~誰もが住みよい社会をつくるために~ ※字幕・副音声付き 障害のある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取り組みなどを紹介し、「障害のある人と人権」について考えていきます。	2018年 33分	人権推進 多文化共生課
542	障害のある人の人権	心のバリアフリーをめざして~合理的配慮と職場のコミュニケーション~ ※字幕・副音声付き このDVDでは、実際に障害のある方に出演してもらい、ご自身が経験したケースを通して、周囲が気を付けるべき配慮について学ぶ事ができます。	2018年 35分	人権推進 多文化共生課
543	障害のある人の人権	共に働くための合理的配慮 本作は、障害に関係なく、誰もが職業を通して社会参加できる『共生社会』の実現を目指し、合理的配慮について学んでゆきます。障害別に、その障害の特性と、合理的配慮の具体例を紹介。また障害のある方にとっての合理的配慮とは何か?障害のある方自身の言葉を通して、紙面などでは伝わらない合理的配慮のありかたを考えてゆきます。そして障害者雇用に積極的に取り組んでいる企業の合理的配慮の実践例を見てゆくことで、合理的配慮の考え方や進め方の参考となる内容です。	2019年 33分	人権推進 多文化共生課
544	障害のある人の人権	できることから始めよう みんなの声かけ運動 ~下肢に障害のある方への声かけ~ 困っている人がいたら勇気を出して声をかけましょう!「お手伝いしましょうか?」 兵庫県では、だれもが地域社会の一員として支えあうなかで、安心して暮らし、元気に活動できる「ユニバーサル社会」の実現を目指しています。その一環として、障害のある方、高齢者、妊婦、小さな子ども連れの方をはじめ、だれもがまちなかで困っているときに、みんなが声をかけて助けあおうという「みんなの声かけ運動」を展開しています。	2018年 17分	人権推進 多文化共生課
545	障害のある人の人権	ハンセン病問題を知る ~元患者と家族の思い~ 令和2年度 法務省委託 隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。※同じDVDが2本あります	2020年 34分	人権推進 多文化共生課
649	平和問題	火垂るの墓 (アニメーション) ※劇場用映画 自らの体験をもとに書いた野坂昭如の同名小説を、アニメ映画化。戦争によって両親を失った幼い兄妹がたどる過酷な運命を描く。	1998年 88分	人権推進 多文化共生課
650	平和問題	あした元気になーれ! 半分のさつまいも (アニメーション) 戦災孤児となったかよちゃん、きいちゃん兄妹が、終戦直後の貧困と不安の時代に、明るくたくましく生き抜いていく姿を丁寧に描いている。海老名香葉子さんの「半分のさつまいも」を原作として制作されたもの。	2000年 90分	人権推進 多文化共生課
651	平和問題	いわたくんちのおばあちゃん —ぼく、戦争せんけね— (アニメーション) 広島原爆にまつわる実話を基にした絵本『いわたくんちのおばあちゃん』をアニメ化した、平和教育のためのビデオです。原爆や戦争の悲惨さを伝え、平和や命の大切さを強く訴えかける。	2009年 20分	総合センター
652	平和問題	ボクとガク あの夏のものごと (アニメーション) 小学5年生の希望(のぞみ)と岳(がく)は、近所の美代おばあさんと親しくなり、かつての友だちや地域、八幡大空襲のことを教わります。2人の子どもとおばあさんとの交流を描きながら、子どもの人権や、地域で育む人権文化に目を向け、「戦争と平和」についても描いている。	2010年 42分	人権推進 多文化共生課
653	平和問題	父と暮せば 広島原爆投下から3年、生き残った後ろめたさから幸せになることを拒否し、苦悩の日々を送る主人公(美津江)と父(竹造)が悲しみを乗り越え、未来に目を向けていく。	2004年 99分	総合センター
654		一つの花 (アニメーション) <DVD>	1991年 23分	総合センター
655	平和問題	一つの花 (アニメーション) <VHS> 昭和19年夏、日本は太平洋戦争で食べ物も不足していた。お腹を空かせ、おにぎりをねだる幼い我が子に、父はコスモスの花を1つ手渡して出征していく…。戦争の現実、食料難による飢餓感から平和の尊さを訴える。		
656	平和問題	おこりじぞう (アニメーション) 広島原爆にまつわる実話を基にした絵本『おこりじぞう』をアニメ化した、平和教育のためのビデオです。原爆や戦争の悲惨さを伝え、平和や命の大切さを強く訴えかける。	1983年 28分	人権推進 多文化共生課

657 658	平和問題	キムの十字架（アニメーション）★VHS版⇒No.657/DVD版⇒No.658 第二次大戦中、日本軍に田畑を取られ、さらには日本へ強制労働に送られた朝鮮人兄弟ジェハとセファンの姿を通して、戦争の悲惨さを訴える作品。原作は和田 登・作の小説『キムの十字架』。ジェハ役の古谷 徹、セファン役の野沢雅子をはじめ、メインキャストには有名声優が多数参加している。	1990年 80分	総合センター
659	平和問題	紙屋悦子の青春 戦争に引き裂かれる恋と、庶民の日常を淡々と描く。主演は原田知世、共演は永瀬正敏ら。戦時下の青春、庶民の心情を体現する。食卓での団欒(だんらん)や夫婦げんか、お見合いの不器用な会話など何気ない日常描写を通し、戦争の不条理、無意味さを訴えかける。	2006年 111分	人権推進 多文化共生課
660	平和問題	ヒロシマの記憶 幻の原爆フィルムで歩く広島 日本人によって撮影された、広島に原爆が落とされて2ヵ月後の風景を収録したフィルムをDVD化した作品。このフィルムは1946年に「広島・長崎における原子爆弾の効果」という映画となり、米軍の教材とされました。映された映像と現在の場所を対比することで、過去と現在、戦争と平和、当時の記録を蘇らせる作品です。	2004年2005年 35分	総合センター
661	平和問題	長崎の記憶 幻の原爆フィルムで歩く長崎 日本人によって撮影された、長崎に原爆が落とされて2ヵ月後の風景を収録したフィルムをDVD化した作品。このフィルムは1946年に「広島・長崎における原子爆弾の効果」という映画となり、米軍の教材とされました。映された映像と現在の場所を対比することで、過去と現在、戦争と平和、当時の記録を蘇らせる作品です。	2008年2009年 37分	総合センター
662	平和問題	つるのって「とも子の冒険」★VHS版⇒No.623 夏の日に広島原爆資料館を訪れたとも子の前に、ふしぎな少女サダコが現れる。サダコの案内でとも子のふしぎな冒険が始まる。	2014年購入 27分	総合センター
663	平和問題	よっちゃんのビー玉（アニメーション） 実話をもとにした作品。広島で被爆死した4歳の少年の物語。この物語を通して、原爆の恐ろしさを子どもたちに語り継いでいきたい。	2014年購入 58分	人権推進 多文化共生課
664	平和問題	はだしのゲン[第1作] ※実写版 1945年8月6日午前8時15分、ゲンが学校へ行く途中、市内上空に飛来したB29が新型爆弾を投下。強烈な白い閃光が走り、巨大な雲が一気に広がります。ゲンは運よく助かりましたが、街は猛火と黒煙のなかでその姿を一変させていました。被爆の苦しみを超えることなく、必死に生き抜こうとするゲンの姿が、平和の尊さを訴え続けます。	1976年 107分	総合センター
666	平和問題	もうひとつの沖縄戦記 沖縄は、第2次世界大戦当時、住民の4人に1人が犠牲になるという悲惨な地上戦を経験しました。当時、子どもだった方々の体験談を参考に、同じ年頃の子どもの朗読による22の証言で構成されています。これまでの戦争ドキュメンタリーとは違った、子どもの視点での作品となっています。	2002年 30分	総合センター
667	平和問題	消えさらぬ傷あと 火の海・大阪（アニメーション）★VHS版⇒No.645 1945年（昭和20年）大阪に住んでいた多くの人々が無差別の空襲によって、尊い命を失いました。二度とこのような不幸な戦争を繰り返さないよう、平和の尊さを訴えるアニメーションです。	2010年 20分	総合センター
668	平和問題	100ばんめのサル（アニメーション）★VHS版⇒No.632 世界が核の問題に熱い視線を向ける今日、恐怖と危険がいっぱいの地球を救えるきっかけとは---「100ばんめのサル」!?物事や文化は、この「99番目」までは、少しずつ着実な拡大の形態を取り、「100番目」（臨界点）に達したときに、爆発的に拡大をする。ここに世界平和、核廃絶へのヒントが隠されているのではないだろうか。	1986年 17分	人権推進 多文化共生課
669	平和問題	ぞう列車がやってきた（アニメーション） 戦争から象を守り抜いた人々の優しさや勇気を子どもたちの視点から描くとともに、夢も希望もなくなった戦後、「象を見たい」「象に会いたい」という東京の子どもたちが、平和の象徴として「ぞう列車」を走らせるまでを描く長編アニメーション。	1992年 80分	人権推進 多文化共生課
670	平和問題	学ぼうヒロシマ 中国新聞社制作の中学・高校生向けの被爆70年・被爆証言などを収めた平和学習DVD。内容は「記憶を受け継ぐ」、「平和をになうのは私たち」、「1945 原爆と中国新聞」の3本立て。	2015年 76分	人権推進 多文化共生課
671	平和問題	涙に浮かぶ記憶 ～戦争を次世代に伝えて～ この作品は、「なぜ日本は戦争を止められなかったのか」その疑問を中学生3年の女の子が、戦争体験者の曾祖父から聞き出しながら戦争への拡大の足跡を資料映像で辿っていくものです。	2017年 28分	人権推進 多文化共生課
672	平和問題	対馬丸 ～さようなら沖縄～ 昭和19年夏、太平洋戦争が激しくなると、日本軍は本土決戦に備え、沖縄の子どもたちを学童疎開させる命令を出しました。疎開船「対馬丸」と主人公キヨシの運命は…。	1982年 75分	人権推進 多文化共生課
673	平和問題	ちいちゃんのかげおくり（アニメーション）★VHS版⇒No.619 お父さんは、ちいちゃんに「かげおくり」という遊びを教えてくれた。戦争がひどくなり、ちいちゃんは、お兄ちゃんとお母さんとはぐれてしまう。みんなに会いたくて、一人かげおくりをする。	1991年 17分	総合センター

674	平和問題	はとよひろしまの空を 太平洋戦争末期。家族とかわいがあってくれた飼い主の少年を原子爆弾で亡くし、一羽残されたためすの小鳩。焼け野原となった町を必死で生き抜こうとした鳩の姿を通して、あらためて、命とは、平和とは何かを問いかけます。	1999年 21分	人権推進 多文化共生課
675	平和問題	アゲハがとんだー1945・3・10東京大空襲ー（アニメーション） この物語は、学童疎開先のものどかな情景から始まります。子ども同士の争いはあつたりしますが心の底では理解し合っており、絆が結ばれています。卒業式のために東京に戻った主人公たちは、3月10日の午前0時過ぎ、東京大空襲に見舞われます。前半の暖かい日差しの中の情景と、後半の激しい空襲のシーンがコントラストとして印象的に描かれます。	2019年 20分	人権推進 多文化共生課
677	平和問題	トビウオのぼうやはびょうきです（アニメーション）★VHS版⇒No.625 1954年3月1日、太平洋の中にあるビキニ島で、アメリカが水素爆弾の実験をしました。この爆発で人間が病気になるたり死んでしまう。おそろしい灰がたくさんばらまかれました。近くでマグロをとっていた「第五福竜丸」という漁船もこの灰を浴びてしまい、23人が病気になるたり保山愛吉さんが亡くなりました。被害にあったのは人間だけではありませんでした。海の底はめちゃくちゃに壊され、たくさんのお魚たちも同じように病気になるたり死んでしまいました。”私たちは、この悲惨な出来事を絶対に忘れてはいけません”という思いを込めて、いぬいとみこさんの童話を原作にアニメ映画にしたものです。	2005年 19分	人権推進 多文化共生課
680	平和問題	しんちゃんのさんりんしゃ（アニメーション）※被爆50周年映画 ★VHS⇒No.634 広島原爆資料館の赤さびた三輪車にまつわる実話をもとに作られた短編アニメーション。 戦争で使う武器のためにお寺の鐘も供出しなければならなかった時代です。三輪車なんて手に入らない時代でした。伸ちゃんがねだってねだってやっと手に入れた三輪車は、おじさんのおフルでした。 伸ちゃんと仲良しのおきみちゃんは、昭和20年8月6日の朝も、三輪車に乗って楽しく遊んでいました。そして選考がきらめき、原子爆弾が爆破しました。伸ちゃんとおきみちゃんは三輪車で遊んでいるときに被爆して、死にました。広島市内で、たくさんのお命が奪われました。	2011年 26分	人権推進 多文化共生課
681	平和問題	忘れない!戦場で傷ついた子どもたち ～ドイツ国際平和村の記録～ 世界ウルルン滞在記 特別編 ドイツ国際平和村は、1967年の創立以来、世界各地で続く内戦や紛争で傷ついた子どもたちを受け入れ、治療を施し、リハビリ指導をし、母国へ帰す活動を続けてきました。 これまでに世界55カ国約29000人の幼い命を救ってきています。 女優・東ちづるは、TV番組「世界ウルルン滞在記」(TBS系・毎週日曜22時～23時)のレポーターとして1999年に平和村を訪れて以降16年間、平和村の支援をライフワークとしてきました。募金とボランティアの力によって成り立っているドイツ国際平和村、番組と東ちづるの活動によって、日本と平和村の関係は深まり、これまで約17億円の寄付が集まり、228人の日本人ボランティアが訪れています。そして平和村の宿舎へと続く通りは、平和を願う「ヒロシマ通り」と名づけられ、2015年には平和の象徴として、桜が植樹されました。 是非、このDVDをご覧になって「平和とは何か?」を自らに問いかけてください。 チャプター1 平和村16年間の記録(約52分) チャプター2 平和村と日本人ボランティア(約46分)	2016年 98分	総合センター
838	在日外国人等の人権	外国人労働者問題から多民族共生を考える 従業員2割が中国人という日本企業を密着取材。研修・技能実習制度を利用した人材の育成・確保の実態をドキュメントしながら、利益追求というリアルな現実のなか、どう人権問題と真剣に向き合ってきたのか、中国ロケを交えながら描きます。さらに、労働者は生活者であるという視点から、その生の声や地域の支えにも触れていく。	2007年 32分	人権推進 多文化共生課
839	在日外国人等の人権	ホームタウン 朴英美のまち 本名を名乗り、看護師として前向きに生きようとする在日韓国人3世の姿を通して、学校や社会で経験する様々な葛藤を描く。名前や国籍の違いを認め合い、それぞれの生き方・考え方を大切にして理解し合うことの必要性を学び、全ての人の人権が尊重される豊かな社会の実現について考える。	2008年 54分	人権推進 多文化共生課
840	在日外国人等の人権	外国人と人権（違いを認め、共に生きる） 外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるのか。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのか学ぶDVD。	2016年 33分	人権推進 多文化共生課
841	在日外国人等の人権	サラマット ～あなたの言葉で～ ※字幕副音声版 SNS時代における外国人の人権-「違い」は壁ではなく、自分自身を成長させ、地域を豊かにする源です。異なる文化の人たちを、共に未来をつくる新しい存在として尊重し、互いに高め合っていく。そんな多文化共生社会の実現をめざす内容となっている。	2019年 36分	人権推進 多文化共生課
943	高齢者の人権	老いを生きる ※日本語字幕付き 誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対するやさしさや思いやりの心が、態度や行動に表れるような人権感覚を身につける。	2006年 35分	人権推進 多文化共生課
944	高齢者の人権	夢のつづき（アニメーション） 家族の中で疎外感を抱く孤独なお年寄り、認知症を患う高齢者とその介護に疲れ果てた家族、無気力な毎日を送る若者ら…世代も立場も異なる人たちが、ふれあうことによって家族のきずなを深め、生きがいを感じられるようになっていく様子を描いている。	2008年 40分	人権推進 多文化共生課
945	高齢者の人権	明日はわが身 老人介護と助け合い 高齢社会の現代、元気な高齢者もいれば、寝たきりの高齢者もいる。今こそ若者も、子どもも手を取り合い老人介護の問題を自分自身の問題として考え、豊かな社会を築いていこう。明日はわが身かもしれないこの問題を改めて見つめ直す。	2010年 18分	総合センター
946	高齢者の人権	探梅 春、遠からじ（アニメーション） それぞれの事情や過去を抱えた登場人物の交流を描きながら、お互いが支え合い、温かく見守りあう地域社会の大切さを語りかけていく。	2010年 40分	人権推進 多文化共生課
947	高齢者の人権	なぜ、介護者が虐待を… 介護者支援から高齢者虐待のない社会へ 高齢者に対する虐待は、介護を担う人が精神的・肉体的に追い詰められた末に起こるケースが多いといえます。この作品は、様々な高齢者虐待の事例を再現ドラマで示すとともに、虐待防止のあり方や、悩みを抱えた介護者を支援することの大切さを訴えています。	2012年 24分	総合センター

948	高齢者の人権	ここから 歩き始める ※字幕・副音声付き 「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。	2015年 34分	人権推進 多文化共生課
949	高齢者の人権	認知症と向き合う 認知症によくみられる症状や、認知症の人の思いと家族の気持ちの変化、症状の理解、介護者の交流の大切さなどを描いたドラマ教材です。認知症の人もその周囲の人も、よりよく生きていけるように、認知症についての正しい知識を持ち、理解を深めることを目的に制作された作品です。	2016年 30分	総合センター
950	高齢者の人権	防ごう 高齢者虐待 日常の介護から考える 高齢化の進む現代社会にとって、親や年老いた夫・妻の介護は多くの人にとって避けて通れない問題となっています。日常の介護の中で心ならずも高齢者を虐待してしまうことは誰にでも起こりうるかもしれません。老々介護や働きながら認知症の親の介護をしている事例のドラマなどから、どのような場面で虐待をしそうになるかを示すことで、虐待発生を未然に防ぐにはどうすればいいのかを考え、理解できることのできる作品です。※字幕選択可	2015年 25分	総合センター
951	高齢者の人権	「やさしく」の意味 -おばあちゃんは認知症だった- ※字幕付き 「小中学生の認知症サポーター作文コンテスト」で最優秀作品に選ばれた小学4年生の作文「やさしくということ」という作文を脚色し、ドラマにしたものです。認知症患者、その家族、そして彼らを取り巻く地域社会。一人ひとりが安心して暮らしていける工夫とは…	2019年 33分	総合センター
952	高齢者の人権	折り梅 それは、ある日突然、平和な家庭にふりかかった…。名古屋郊外のベッドタウン、愛知県豊明市。サラリーマンの夫・裕三とパート勤めの妻・巴、中学生と小学生の子ども二人の4人家族に、夫の母・マサコが同居することになった。ところがまもなく、マサコが変調をきたし始め、病院でアルツハイマー型痴呆症と診断される。バラバラになる家族、ところがある日、マサコの中に眠っていた驚くべき才能が発見される…。崩壊しかけた家族が、思いがけない展開とさまざまな葛藤を経て見事に再生してゆく物語に、人間の無限の可能性が描かれる。 出演：原田美枝子、吉行和子、トミーズ雅、加藤登紀子他	2021分 111分	NEW 人権推進 多文化共生課
1005	その他	めぐみ（アニメーション） 昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いたドキュメンタリー・アニメ。	2008年 25分	人権推進 多文化共生課
1006	その他	山太郎かえる（アニメーション） ※通常版とバリアフリー版があります 両親を失い人間に拾われたクマの山太郎は、目の前を走る蒸気機関車のC62と仲良くなり、やがて汽笛のように吠えるようになる。鎖でつながれていた山太郎は、友だちのC62に励まされ、自由への道を踏み出そうとするが…。	2007年 24分	総合センター
1007	その他	第21回川西市人権教育研究大会記念講演 「犯罪捜査・事件報道と人権」 松本サリン事件冤罪被害者の河野義行さんに「犯罪捜査・事件報道と人権」というテーマでの講演DVD。	2009年 95分	総合センター
1008	その他	ハチ公物語（アニメーション） ハチ公は話すことは出来なくても心と心はしっかりと通い合っていたのです。そんな心あたたまる愛と感動の物語。	2010年 18分	総合センター
1009	その他	双子の星（アニメーション） ※通常版とバリアフリー版があります 双子のお星様は、毎晩笛を吹くのが役目で、役目が果たせないと、海に落ちてヒトデになってしまう。ある日、お星様は大きなカラスとサンリのケンカに巻き込まれてしまう。さあ無事に笛を吹く事ができるのか？	1996年 26分	総合センター
1010	その他	猫の事務所（アニメーション） ※通常版とバリアフリー版があります 猫の第6事務所働くかま猫は、先輩の猫たちに冷たくされ、悲しい思いをしていた。友だちの山猫は、そんなかま猫を心配している。さあ、この問題を解決する事はできるのか？	1996年 22分	総合センター
1011	その他	妻のブログ - 50歳代からのライフプラン - 健康、お金、生きがいを準備しつつ定年退職を迎えることは、自分のみならず、家族のためでもある。まもなく定年の市役所職員の皆川は、8年後の未来にタイムスリップ！自分の過去を知るために妻のブログをのぞき見る…。	2008年 27分	総合センター
1012	その他	パワー・ハラスメント そのときあなたは… パワー・ハラスメントの被害を受けた人たちのインタビューと事例にもとづくドラマにより、パワー・ハラスメントをわかりやすく解説している。	2008年 26分	人権推進 多文化共生課
1013	その他	雨ふり小僧 ※通常版とバリアフリー版があります 妖怪・雨ふり小僧との約束を忘れ、オトナになったモウ太。思い出した時は40年の月日が流れていた。身勝手な人間に、雨ふり小僧はどう答える？	1995年 24分	総合センター
1014	その他	職場の日常から考えるパワーハラスメント この作品は、ある会社で起こる様々な問題を一本のドラマで描いていますが、暴力や暴言といった従来型のパワハラは取り上げていません。むしろパワハラなのかそうでないのか、線引きが難しい事例を中心に描いています。より働きやすい職場をつくるために、働く一人一人ひとりが、それぞれの立場から「職場のパワーハラスメント」をなくすためにどうすればいいか、学ぶ作品です。	2012年 28分	人権推進 多文化共生課
1015	その他	減らそう！セクシャルハラスメント ～職場の風土を変えよう～ ある男性社員が、自分がセクハラ加害者であると指摘されたことをきっかけに、徐々にセクハラについての認識を改めていく姿をドラマ仕立てで描かれています。「セクハラに対して、企業としてどのような意識を持ち、どう的確に処置していくべきか」を示しています。	2015年 25分	総合センター

1016	その他	<p>ハルをさがして</p> <p>東京から福島へ。失ったものを取り戻す、ひと夏の冒険。3.11後のぼくたちのスタンド・バイ・ミー 震災後の福島を舞台に、ひと夏の経験を通して少年少女達の「成長」を普遍的なテーマを描く『ハルをさがして』。 イケてない中学生男子3人と、クラスで一番可愛い女子が織りなす4人の旅は、ほろ苦く、そしてどこか可愛い珍道中。 主題歌『呼んでくれ』甲本ヒロト</p>	2015年 93分	総合センター
1017	その他	<p>ワーク・ライフ・バランスを知っていますか？ ～働くオトコたちの声～</p> <p>ワーク・ライフ・バランスという言葉を知っていますか？それば、「仕事」と「生活」を調和させるライフスタイルのこと。家庭 や会社など私たちの身近なところで、すでに様々な取り組みが始まっています。このDVDでは、ワーク・ライフ・バランス 社会の実現を目指す企業や、仕事と家庭の理想的なバランスを実践する人々の姿をドキュメンタリータッチで紹介しま す。 ※同じDVDが2本あります</p>	2008年 50分	人権推進 多文化共生課
1018	その他	<p>配偶者からの暴力の根絶を目指して～配偶者暴力防止法のしくみ～</p> <p>配偶者からの暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権損害です。配偶者からの暴力は、あなたの身近なところでお きています。「配偶者暴力防止法」は平成13年に制定され、平成19年7月に保護命令の拡充や市町村の取組の強化 を柱とした改正法が成立し、平成20年1月の施工されました。このDVD、配偶者からの暴力の根絶を目指して、「配偶 者暴力防止法」のしくみ等についてわかりやすく紹介しています。</p>	2008年 35分	人権推進 多文化共生課
1019	その他	<p>令和2年度職員人権研修（2020/12/14）</p> <p>令和2年度職員人権研修録画DVD 令和2年（2020）12月14日（月）16:00～17:15 川西市役所7階大会議室</p>	2020年 60分	人権推進 多文化共生課
1020	その他	<p>「ただいま」～の声を聞くために～ Abducted by North Korea -Megumi, 13years old-</p> <p>大切に大切に育てた娘が、ある日、突然に消えてしまった。それからずっと、わが子を愛し続けて「家族のもとに返して」と 叫ぶ、父と母の物語。 「めぐみは北朝鮮の工作船の暗い船底に閉じ込められ『お母さん、助けてお母さん』と壁をかきむしり、絶叫し続けて、暗 い船を運ばれたといひます。」横田早紀江</p>	2009年 33分08秒	人権推進 多文化共生課
1021	その他	<p>ハラスメントを生まないコミュニケーション グレーゾーン事例から考える</p> <p>一見、コミュニケーションが良好に見える職場にも、ハラスメントの落とし穴はひそんでいます。ハラスメントを生まない ために、どのようなことを意識すれば良いのでしょうか。 様々な事例をもとに、それぞれの立場の考え方や、気づきのポイントを示し、職場でのコミュニケーションのあり方を考 えていきます。</p>	2018年 25分	総合センター
1022	その他	<p>SNSに潜む危険 書き込む内容・載せる動画</p> <p>子どもたちがSNSを安全に使うためのトラブルの実例を学び、回避方法を身につける。</p>	2020年 22分	総合センター
1023	その他	<p>日頃の言動から考える 職場のハラスメント ※字幕・副音声版付き</p> <p>人権啓発推進DVD 監修 成蹊大学法学部教授 職場において、日頃の何気ない言動がハラスメントにつながる場合があります。誰もがハラスメントの被害者にも加害者 にもなり得るのです。ハラスメントを防ぐためには、どのようなことを意識すれば良いのでしょうか。 職場で起こりがちなハラスメントやそのグレーゾーンについて、様々な事例をもとに考え方のポイントを解説し、ハラスメ ントが起こりにくい職場環境作りについて自分事として考えることができる教材です。 「解説書」「ワークシート」あり</p>	2021年 29分	人権推進 多文化共生課
1024	その他	<p>同級生は外国人</p> <p>ある日、小学4年生の直人のクラスに、日系ブラジル人のニコラスが転校してきます。日本語は苦手ですが、サッカーが 上手なニコラスはすぐに人気者に。しかしクラスの女子の持ち物に「へんなの」といつたりして、クラスで浮いた存在に なってしまいます。そしてついに、クラスの友だちとけんかをしてしまい、その日を境に学校に来なくなってしまいました。そ んなとき、直人が放課後、ニコラスの家に宿題を届けようとする、公園にニコラスがいて…。</p>	2020年 22分	NEW 総合センター